

令和5年度

小樽地区の巻

事務局 小樽市立銭函小学校

小樽市小学校長会は、市内17校（内小中併置校1校）の校長で組織されている。今年度は、転入2名、採用3名の新会員を迎え、4月11日に総会を開催し活動方針や予算を決定するとともに、新年度の役員を選出した。



（小樽雪あかりの路）

I 本年度の活動方針

小樽市小学校長会は、小樽市教育推進計画の基本理念である「主体的に学び 小樽の未来を創る心豊かな人づくり」の実現を目指すため、校長としての使命と責任の重要性を自覚し、職能の向上に努めるとともに、小樽市民の負託と家庭・地域の信頼に応えることのできる小学校教育の推進及び小樽市の教育振興に寄与することを目指して活動している。

これまで本会は、小学校長会重点施策と小樽市校長会重点目標の実現を活動の中心に据えながら、小樽市中学校長会と連携のもと組織的に取組を進め、成果を上げてきた。とりわけ昨年度は、「校内組織の機能化」「小中一貫教育の推進」「人材育成」「業務改善」に焦点を当て、各ブロックで現状分析するとともに目標や方策を共有し、足並み揃えて学校運営の改善・強化が図られたことは大きな成果である。また、第74回全国連合小学校長会研究協議会島根大会（ハイブリッド開催）において、「健やかな体」に関する小樽市小学校長会の研究1年次目として、小中一貫教育の充実による体力向上や地域の特色を生かした体力向上の取組を全国に発信し、大きな評価を得ることもできた。

今年度は、「令和の日本型学校教育」の構築に向けて、中教審答申（令和4年12月19日）で示された「『新たな教師の学びの姿』の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成」が課題となる。学校教育の成否は教師の力に大きく依存しているが、一人一人の教師の力だけで学校

現場が抱える多くの課題を解決することは困難である。校長のリーダーシップの下で、多様な専門性を有する質の高い教職員集団を形成し、組織の力で一人一人の児童生徒等に向き合っていくことが求められている。さらに、新型コロナウイルス感染症対策と教育活動の両立に努め、学校を全ての子どもたちにとって安心して楽しく通える魅力的な場にするとともに、ポストコロナ時代の小学校教育を考えていかなければならない。

そのため校長は、学校経営力向上に努め、リーダーシップを発揮し、「校内組織の機能化」「人材育成」「業務改善」「GIGAスクール構想の実現」「小中一貫教育の推進」等を今後も一体的に推し進めていく必要がある。そして、本市の小学校教育の充実・発展のために、一致協力して邁進し、その成果を学校経営で具現化していかなければならない。

そこで、今年度は以下の内容を重点施策とし、活動に取り組むこととする。

II 活動の重点と内容

1 重点施策

- ①「令和の日本型学校教育」の構築に向けた「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成
- ②新型コロナウイルス感染症対策と教育活動の両立及びポストコロナ時代の小学校教育の創造

③全連小研究課題「健やかな体を育む
カリキュラム・マネジメントと校長
の在り方」に向けた共同研究の推進

2 活動内容

①校長として、その責務を自覚し、学
校経営の充実に資する研究活動の
推進と研修の充実に図り、学校経営
の専門職としての職能の向上に努
める。 **研究・職能向上**

②教育関係機関及び中学校長会との
密接な連携を図り、教育課題を迅速
・的確に把握し、総力を結集して課
題解決にあたる。 **連
携**

③「令和の日本型学校教育」の構築と
それを担う教職員集団の形成を図
るとともに、学習指導要領の確実な
実施に向けた進捗状況の把握・検証
を円滑に進める。 **学習指導要領**

④中学校長会と連携し、校内組織の機
能化を図り、学校力の向上を図る。
組織力強化

⑤教頭・主幹教諭・教務主任等の学校
マネジメント能力を高める研修の
機会を充実させ、次世代を担うスク
ールリーダーの育成を図る。
人材育成

⑥安心・安全な学校づくりを目指し、
関係機関との連携や情報共有に努
め、感染対策を含めた危機管理体制
の整備・充実に図る。 **危機管理**

⑦「小樽市立学校における働き方改革
行動計画」を踏まえ、これまでの働
き方を見直し、教師自らが授業を磨
くとともに、その人間性や創造性を
高め、子どもたちに対して効果的な
教育活動を行うことができるよう

にするため、具体的な業務改善と効
率的な学校運営につながる取組を
進める。 **働き方改革**

⑧組織機構改革や会議・業務の効率的
な運営を図り、一層活力ある小学校
長会へと改変を進める。 **組織改革**

III 各部の活動方針

1 組織部

子どもが安心して日常生活を送ること
のできる安全な環境をつくるため、
小・中・高校及び関係諸団体などとの
連携を密にし、子どもたちの健全育成
並びに教育環境の充実や学校経営の改
善に資する業務推進に努める。

2 研修部

全連小及び道小の教育研究大会に関
する活動や学校経営に関わる研修活動
の推進を通して、校長としての一層の
職能向上を図る。

3 厚生部

小樽市小学校長会の方針に基づき、
学校給食及び学校保健・安全の向上を
図るとともに、会員及び教職員の福利
厚生の実と親睦に努める。

IV 役員

会 長	遠 藤 隆 典 (稲穂小)
副 会 長	及 川 年 彦 (望洋台小)
	篠 崎 大 作 (高島小)
監 査	谷 本 慎 司 (長橋小)
	水 口 正 紀 (桜小)
事務局長	渡 辺 琢 史 (銭函小)
事務次長・会計	草 島 拓 也 (幸小)
組織部長	脇 本 麻友美 (張碓小)
研修部長	伏 間 公 洋 (山の手小)
厚生部長	山 際 昌 枝 (桂岡小)

